



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第25号

発行: 2008年5月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

湘南泉病院 薬剤師の仕事 ～ 調剤業務以外にも安全管理へ取り組む～

湘南泉病院 薬局長 深瀬 慎一郎



【 機能評価認定証を背景に... 】

て、抗生物質の種類によっては、十分な効果が期待でき、副作用ができるだけ出ないようにするために、用法と用量を厳密に管理します。アミノグリコシド系抗生物質、グリコペプチド系抗生物質などが該当します。これらの薬剤を使用する際に適正な用法と用量を決定するため、血中薬物濃度モニタリング(TDM)業務を行っています。そしてこの情報を元にして患者様ごとに、医師に薬剤の適正使用情報を提供しております。

調剤業務では、主に処方鑑査業務に力を入れています。

処方鑑査とは、薬の用量超過はないか、薬の飲み合わせに問題はないか、点滴スピードが速すぎないか、検査値などから判断し禁忌症とはなっていないかなど、処方された薬剤が適正に使用されているか確認する業務です。処方箋だけでは、現在使用しているしている薬剤がすべて見ることはできないこともあります。当院では、処方オーダーリングや電子カルテはまだ導入されておませんが、薬局にて全患者様の処方箋の記録を行っており、その情報をもとに、処方鑑査業務を行っております。特に本年4月からは、院内で処方された医薬品以外にも入院前に飲まれていた持参薬に関しても薬歴の作成を行なうようにしております。湘南泉病院の薬剤師として、医薬品の適正使用のために努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

湘南泉病院の薬剤師は、医師の発行した処方箋に基づいた医薬品の調剤をする以外にも、それに関連した広い範囲の業務を行っております。医師看護師、他の医療従事者と連携を取り合い、患者様に適した薬物治療が、より安全に行えるように努めています。医療安全管理者として、医療安全および医薬品の安全管理に取り組んでおります。

例えば、院内医薬品の設置、薬剤の管理(間違いやすい薬品名の採用切り替えなど)や、医薬品の在庫管理(期限、品質、保管管理方法)などに対し、委員会活動などを通じ推進しています。

さて、薬局の業務ですが医薬品の調剤、管理、医薬品の情報提供、服用された薬剤が適正な効果がでる濃度となっているか確認するための血中薬物濃度モニタリング(TDM)などがあります。血中薬物濃度モニタリング(TDM)業務、処方箋鑑査業務(処方箋の内容確認)に力を入れています。さらに今後は入院されている患者様のところに直接伺い薬の説明に力を入れていきたいと思っております。

処方箋に基づいた医薬品の調剤や窓口でのお薬の説明以外の業務は、なじみの少ないものが多いと思っておりますが、これらの業務を行うのも薬剤師の業務となっております。新薬開発においても近年では、薬物動態学(PK)、薬物動力学(PD)の考えが多く取り込まれており、この考え方を臨床に取り入れ、患者様の薬物療法が適正に行なわれることを期待して行われている業務となります。患者様の多くが感染症、中でも肺炎の患者様となっております。感染症への抗生物質の投与におい

開催日時 : 平成20年6月25日(水) 14時~17時

場所 : 湘南泉病院 会議室 4階

プログラム : テーマ「肝臓病について」 ~ウイルス性肝炎~

講師 湘南泉病院 副院長 末盛 彰一

テーマ「特定健診(1日人間ドック・一般健診等)
に沿った健康管理をしましょう」

講師 湘南泉病院 副看護部長 片桐恵美子

研修会への参加申し込み・お問合せ先

鵬友会本部(湘南泉病院内) TEL 045-812-2288

担当者: 相澤・長崎 FAX 045-810-0371

参加費は無料です!お申し込みをお待ちしています。

湘南泉病院 リハビリの活動

~ 訪問リハビリも
行っています!! ~

湘南泉病院の4階に150㎡ある広いリハビリ室。冬の晴れた日は富士山などなど見渡せ、展望室のようです。

リハビリは、歩行訓練、起居動作訓練、手芸、言語訓練、ホットパック、牽引、訪問リハビリを行っております。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそろって協力して、患者様第一の理念の下に働いています。



子供たちの宝物が増えました!

鵬友会の職員からの寄付により、ほうゆう園の子供たちの遊具が増えました。カラフルなジャングルジムでイキイキと遊ぶ子供たちは無邪気な笑顔を輝かせています。

これからも、いらなくなった遊具などありましたらご寄付頂ければ幸いです。

